

農林水産統計調査におけるPDCAサイクル点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00500221
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査
調査の名称	特定作物統計調査（令和3年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量）
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他（政策の立案や実施のための基礎資料として利用）
特記事項	

点検・評価項目	点検・評価事項等	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
		整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
I 調査計画との整合性確保等の観点	1 調査の目的	整合	結果の利活用実態 (特記事項)			
	2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域 調査対象産業 その他（ ） (特記事項)			
	3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	整合	母集団情報 抽出方法・抽出基準 全数層・抽出層の設定 対象数の算定 その他（ ） (特記事項)			
	4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	整合	調査票 調査事項 調査期日・期間 その他（ ） (特記事項)			
	5 報告を求めるために用いる 方法※	整合	調査方法 調査系統・組織 民間委託の範囲 その他（ ） (特記事項)			
	6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期) 調査票の提出期限 調査の周期 その他（ ） (特記事項)			
	7 集計事項※	整合	未集計 未公表 復元推計 その他（ ） (特記事項)			
	8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期 公表媒体 e-statの掲載 閲覧表 その他（ ） (特記事項)			
	9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用 独自基準の説明 その他（ ） (特記事項)			
	10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間 保存責任者 保存方法 その他（ ） (特記事項)			
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当	立入検査対象事項 その他（ ） (特記事項)				
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討（予定）している事項		検討（予定）している事項の有無 (選択記入)	検討（予定）している事項の概要 (自由記入)	対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		あり	標本経営体調査における①都道府県の選定要件、②標本の 大きさの基準について、明確化	調査計画の変 更申請	対応中/対応予 定	①標本経営体調査を実施しない都道府県の選定要件（面 積又は母集団の大きさによる下限）、②標本経営体調査 の標本抽出の基準（標本抽出数の上限・下限等）につい て記載
		あり	効率的な手法の導入及び調査結果の精度の維持・向上を図 るため統計作成手法の総体的な改善に向けて検討する。	調査計画の変 更申請	対応中/対応予 定	母集団情報・標本設計、効率的な作付面積の把握手法、 調査範囲（主産県、希少品目、直売所・観光農園等）、 その他の効率化（調査票の発送業務の一元化等）等につ いて検討を行い、調査計画の所要の見直しを行う。
		あり	主産県調査年における推定方法の検証	その他	対応中/対応予 定	収穫量調査の全国調査年（令和6年）の結果を用いて主 産県調査年の推定方法の検証を実施

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)			
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)		目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		<input type="radio"/>	達成精度(実績精度)	収穫量調査 農協等の関係団体への全数調査及び農林業経営体への標本調査（関係団体の取扱数量が8割未満の都道府県のみ）を実施することとしており、10a当たり収量を指標とした全国の目標精度（2～3%）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して都道府県別の目標精度（3～20%）を設定し、標本調査を設計。	収穫量調査 前回までは、2015農林業センサス結果を母集団として、平成29年産調査実施前に左記の標本設計を実施、今回は2020農林業センサス結果を母集団として、令和3年産調査実施前に左記の標本設計を実施。	小豆及びいんげんは、主要な都道府県において、関係団体の取扱数量の割合が8割を超え、標本経営体調査を行っていないことから、実績精度の算出は行っていない。	小豆は、主要な都道府県において、関係団体の取扱数量の割合が8割を超え、標本経営体調査を行っていないことから、実績精度の算出は行っていない。	小豆 1.0% いんげん 3.4% らっかせい 3.4% (令和元年産調査)
			回収率・回答率					
			回収標本数					
			カバレッジ					
			その他					
			設定なし			らっかせい 3.7% (令和3年産調査)	いんげん 6.4% らっかせい 3.4% (令和2年産調査)	